

令和6年度

# 「医療安全セミナー・ワークショップ」を開催

オンデマンド配信と集合研修の2種類、主催：厚生労働省関東信越厚生局

医療安全セミナー・ワークショップは、医療安全対策に関する知識の修得、討議等を行うことにより、医療機関の安全管理者等の資質向上と医療の安全性の向上を図ることを目的としています。今年度は、ご都合のよい時間・場所で視聴できるオンデマンドセミナーと、院内の医療事故調査をテーマとした対面集合型のワークショップを開催します。

## ① セミナーコース：オンデマンド配信

## ② ワークショップコース※：集合研修

※ワークショップコースを受講希望の方は、セミナーコースのお申し込みが必須です

開催日時	・セミナーコース：オンデマンド配信 11月1日（金）～12月20日（金） ・ワークショップコース：11月28日（木）10時～17時15分
定員	セミナーコース：1,000人 / ワークショップコース：60人
開催方式	・セミナーコース：オンデマンド配信 ・ワークショップコース：集合研修
参加費	無料
対象者	・セミナーコース：関東信越厚生局管内の医療機関の管理者・医療安全管理者・その他医療安全に関わっている方、行政機関職員の方 ・ワークショップコース：関東信越厚生局管内の医療機関の医療安全管理者
参加方法	セミナーコース（オンデマンド配信：定員1,000人） こちらからお申し込みください。 ウェブサイトURL <a href="https://form.dr-seminar.jp/seminars/tsncpq/kosekyoku_regs">https://form.dr-seminar.jp/seminars/tsncpq/kosekyoku_regs</a> ※事務局（委託）：デジストリーム(株)が申し込み受け付けを行います。  ワークショップコース（集合研修：定員60人） 下記メールアドレスに必要事項（病院名・氏名・電話番号）を入力してお送りください。 ※iryouanzen-kanshin@mhlw.go.jp 関東信越厚生局 医療安全調整係
開催場所	・セミナーコース：参加者へのオンデマンド配信のみ（集合開催なし） ・ワークショップコース：会場 TKPガーデンシティPREMIUM東京駅丸の内中央（東京駅直結） 住所 東京都千代田区丸の内1-9-1 丸の内中央ビル12階
申込期間	9月27日（金）～10月25日（金）※定員になり次第、申し込み受け付けを終了します。
留意事項	※ワークショップコースご希望の場合、必ずセミナーコースにもお申し込みください。 ※本セミナー・ワークショップは、診療報酬に係る医療安全対策加算に関する施設基準における「医療安全対策に係る適切な研修」の一部（不足する要件を補足する研修）には該当しません。 ※本セミナーは、「参加証」の発行は行いません。
問い合わせ先	・セミナーコース：令和6年度医療安全セミナー事務局（デジストリーム(株)内） 電話：03-6240-9434 メール：info@digistream.jp ・ワークショップコース：関東信越厚生局 医事課 医療安全調整係 電話：048-740-0754 メール：iryouanzen-kanshin@mhlw.go.jp ※両コースともに、土日祝を除く9:30～17:00



## セミナーコース（オンデマンド配信）

講演 No.	内容・講師	
講演 1	定型医療事故調査手法について ～ばらつきを生まない医療事故調査とは～	長尾 能雅氏 名古屋大学医学部附属病院 副病院長 患者安全推進部 教授
講演 2	医療メディエーションの理論と実際 ～患者との対話による関係調整～	和田 仁孝氏 早稲田大学法文学術院 教授
講演 3	身体拘束の最小化	桐山 啓一郎氏 名古屋市立大学大学院 看護学研究科精神保健看護学 准教授 精神看護専門看護師
講演 4	医療安全支援センターの取り組み ～医療機関との協働に向けて～	荒神 裕之氏 山梨大学大学院 総合研究部医学域医療安全学講座 教授 (一般社団法人) 医療の質・安全学会
講演 5	神奈川県医療安全相談センターの概要及び 相談事例について	高野 満喜子氏 神奈川県健康医療局 保健医療部医療企画課 医療安全担当
講演 6	医療事故情報収集等事業について	坂口 美佐氏 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
講演 7	患者・家族の立場からつたえたいこと	北田 淳子氏 ヘルパーステーションとまり木 代表理事

- ・ 講演1～7は録画配信となります。（講演7は、令和5年度に配信した内容と同一です）
- ・ 申し込みは先着順です。定員になり次第、申し込み受け付けを終了します。
- ・ 講演時間は1講演30分～60分程度です。（詳細は動画コンテンツをご確認ください）
- ・ 受講を希望する方は、1人ずつお申し込みください。同一のメールアドレスでの重複申し込みはできません。
- ・ 事務局からお知らせする視聴URLを複数のPC等で共有することはご遠慮ください。

## ワークショップコース（集合研修）

時間	内容	講師・内容等
10:00～10:05	開会挨拶	関東信越厚生局
10:05～10:10	アドバイザー挨拶	横浜市立大学附属病院 医療の質・安全管理部 部長 診療教授 病院長補佐 菊地龍明氏
10:15～17:15	ワークショップ	<b>テーマ</b> 定型医療事故調査手法について ～ばらつきを生まない医療事故調査とは～ <b>講師</b> 名古屋大学医学部附属病院 副病院長 患者安全推進部 教授 長尾能雅氏 <b>ファシリテータ</b> 名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 弁護士 北野文将氏 名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 医師 山本啓央氏 他
17:15～17:25	統括	横浜市立大学附属病院 医療の質・安全管理部 部長 診療教授 病院長補佐 菊地龍明氏
17:25～17:30	閉会挨拶	関東信越厚生局

- ・ ワークショップコースでは、院内の医療事故調査を円滑に行うために何をすべきか（医療事故に該当するかどうかの判断方法、院内事故調査の手法、報告書の作成方法等）について、ワークショップ形式で学びます。
- ・ セミナーコースの講演1、講演2を視聴の上、ご参加ください。
- ・ 申し込み者多数の場合は、早期の締め切りまたは同一機関での参加人数を調整する場合がありますので、あらかじめご了承ください。参加の決定については、後日メールにてお知らせします。
- ・ 研修会場までの交通費や昼食費等の経費は、自己負担になります。